

議案第二十七号

港区立郷土歴史館特別展示室の観覧料について

令和六年二月二十六日

港区教育委員会

令和6年2月26日
教育委員会議案資料 No. 11

港区立郷土歴史館特別展示室の観覧料について

審議内容

港区立郷土歴史館特別展示室で開催する企画展「江戸の本－本からひもとく人びとの営み－」の観覧料について、港区立郷土歴史館条例第六条別表の規定に基づき定めます。

1 企画展名称等

(1) 名称

「江戸の本－本からひもとく人びとの営み－」

(2) 開催期間

令和6年4月27日（土）から令和6年6月30日（日）まで

(3) 内容

江戸時代は、出版を担う本屋が現れ、庶民に向けた本が出版され、本が庶民にまで広まった時代でした。

流通した本は多様で、当時の人びとの営みがうかがえます。

郷土歴史館では、約1,000点の江戸時代の本を所蔵しており、このうち約80点を展示する予定です。

郷土歴史館の収蔵資料の中から、江戸時代に刊行、筆写された、生きていく上で必要とされた知識や学問を身に付けるための本、全国の名所を伝える本などを実物と解説用のパネルを用いて紹介します。

2 観覧料

企画展のみ観覧する場合　：大人　200円　小中高校生　100円

常設展と同時に購入した場合：大人　400円　小中高校生　100円

※ 区内在住、在学の小中高校生、区内在住65歳以上の方、障害者の方及びその介助者の観覧料は免除となります。また、学齢未満は無料となります。

※ 団体料金は、港区立郷土歴史館条例別表の規定により、10分の8となります。

参 考

●観覧料一覧

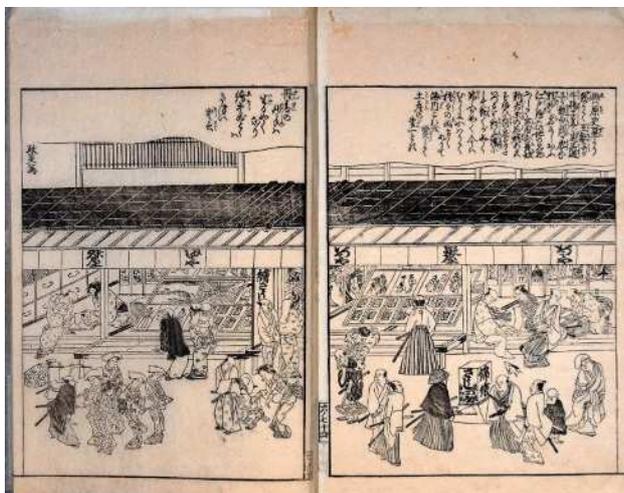
	大人		小中高校生	
	一般	団体	一般	団体
常設展	300円	240円	100円	80円
企画展	200円	160円	100円	80円
常設展と企画展を同時に購入した場合のセット券	400円	320円	100円	80円

●企画展の経費と観覧料について

費 目	金 額
展示造作費	260,000円
印刷費・広告費	155,000円
職員人件費	202,000円
清掃費・光熱水費	108,760円
合計 (A)	725,760円
1日当たり予定利用者数 (B)	40人
開催日数 (C)	63日
延べ予定利用者数 (B) × (C) = (D)	2,520人
(A) ÷ (D)	288円

※ 企画展の観覧料については、算出した一人当たりの額に百円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額としています。

「江戸の本—本からひととく人びとの営み—」における展示予定の本



東海道名所図会

[とうかいどうめいしよずえ]

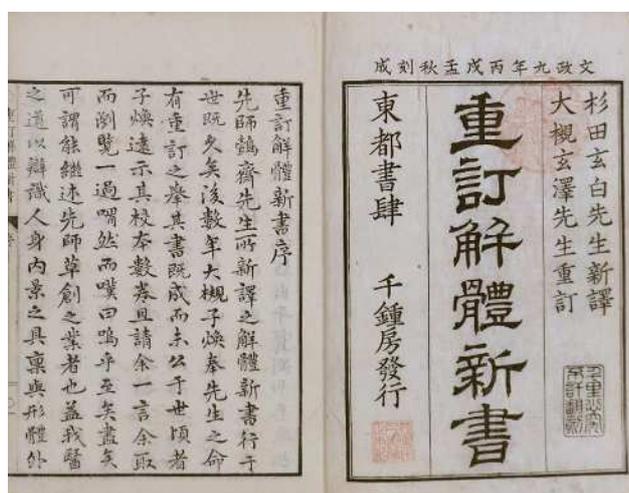
寛政 9(1797)年



康熙字典

[こうきじてん]

文久 3(1863)年



重訂解體新書

[じゅうていかいたいしんしよ]

文政 9(1826)年



雑兵物語

[ぞうひょうものがたり]

江戸時代 (17世紀頃)

令和6年度郷土歴史館特別展・企画課展示予定

展 示 名 称	開 催 期 間	展 示 内 容
〈企画展〉 江戸の本－本からひもとく人びとの営み－	4月27日（土） ～6月30日（日）	江戸時代は本が庶民にまで広まった時代でした。流通した本は多様で、当時の人びとの営みがうかがえます。本展では当館の収蔵資料の中から、江戸時代に刊行、筆写された本を紹介します。
〈夏休み企画展〉 発見！探検！江戸のまち（仮）	7月20日（土） ～9月29日（日）	「江戸切絵図」は江戸の町を分割して描いた地図で、さまざまな情報が盛り込まれています。本展では色彩豊かな尾張屋板の切絵図などから、江戸時代の港区域の様子を読み解きます。
〈特別展〉 激動する幕末維新の港区－開国から攘夷、そして次の時代へ－（仮）	10月19日（土） ～12月15日（日）	幕末維新期の港区域は、当時の日本を揺るがした大事件の舞台となった重要な地の一つです。港区域と深い関係があり、日本の歴史にも大きく影響を与えた諸事件を通じて、観覧者の歴史文化への理解を深めます。
〈企画展〉 未来に伝えよう！みなと遺産 ・新指定文化財展 ・昔の暮らし展	令和7年1月11日（土） ～3月9日（日）	地域の文化財と、その保存・保護についての理解と関心を深めるため、令和6年度に指定された港区指定文化財を紹介します。昔の暮らし展では生活に関わる民具を展示し、使い方や道具の移り変わりを大人にも子どもにも分かりやすく紹介します。

令和5年度郷土歴史館特別展・企画課展示実績

展 示 名 称	展 示 内 容	開 催 期 間	観 覧 人 数
歴史館コレクションー 新収蔵資料展ー	郷土歴史館が、平成28年度から令和3年度までの6年間にわたり受け入れた寄贈資料のうち、民具や文献資料など、未公開の資料を中心に紹介します。	令和5年4月22日(土)～ 6月25日(日)	2,242人
港区たてものウォッ チング～お寺や洋館 をたずねてみよう～	港区には明治・大正・昭和時代に建てられた和風・洋風の住宅など様々な歴史的な建物があります。現存する建物の紹介や解体されてしまった建物の部材・家具類の展示を通して生活の変遷を紹介します。	令和5年7月15日(土)～ 9月18日(月・祝)	2,120人
ある図案家の仕事～宮 中の染織デザイン～	区内に長年居住していた図案家の故中山宜一氏が遺した図案帖『國華』に掲載されている図案、下図、写生画等の資料を紹介します。	令和5年10月14日(土)～ 12月10日(日)	4,690人
未来に伝えよう！みな と遺産 新指定文化財 展／昔のくらし展～食 の道具たち～	地域の文化財と、その保存・保護についての理解と関心を深めるため、令和5年度に指定された港区指定文化財を紹介します。	令和6年1月13日(土)～ 3月10日(日)	開催中 1,672人 (2月18日現在)